

目代館・館の上大砲場ツアー

遠見番所と砲台場になった「館の上砲台場」



館の上御番所(御台場)から中山崎を望む

1 盛岡藩浦番所配置

1644(寛永21)年4月26日以降、盛岡藩は20カ所の浦番改めを行い、同心を派遣している。北浜街道には、5カ所。八戸物見崎、六戸浜根井、東浦のうち泊、田名部のうち尻屋、同所尻労の5カ所に浦番所が、置かれていた。

2 中山崎から上町に遠見番所を移す 「郷村古実見聞記」より

1699(元禄12)年 泊ノ崎と中山崎の2カ所に舟遠見番所が置かれた。後に中山崎は、泊村から遠く不便なので、約400m離れた泊上町の六助の場所に移した。

「浜遠見番所 泊村上町六助家へ建継様相談の上申渡候 但古来中山と申所に御座候由 右の場所は泊村より四丁程隔 人家相離候所にて諸事不弁用に付 右六助と申者の所 場所宜敷御座候間 御普請申付候 尤八戸浦より志利労迄相見得渡候所に御座候」

3 「海岸御台場御筒海岸砲台書」より 嘉永元年(1848年)

一、泊村館の上

約1.125kg

一、三百目唐銅筒 右は壱発打払候事

東南東から南東

約24~27m 約9m 約5.4m

右御台場 辰の向也 高サ八九丈、五間に三間程之平地也 土手左右の方丸く、

約9~10.8m

まえとおなじ

右之方一文字 五六間づつ、柵土手共御拵方前 同断

約10.9m

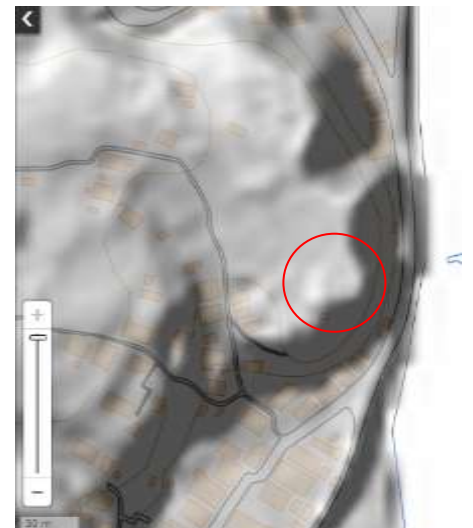
御筒雨覆有之 西南江 壱丁程を下り泊村なり



館の上御番所地形の図 「北奥道中図」村史より引用



館の上御番所地形の図



館の上大砲場の位置 地理院 MSI Maps より引用